

# SHIRO TORI 通信

**Vo.15**

2017 spring

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

「伊那の魅力を映像で！

～ソーシャルフォレストリー

都市～のPR映像を制作」

「イーナ・ムービーズ」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





# 建築NEWS

3Dプリンタを使い24時間で住宅完成！

3Dプリンタを使い、わずか24時間で住宅を建築する—という試みがロシアで行われました。完成した住宅は約38㎡の広さで、ロシアのApis Cor社が中心となり製作されました。

使用された3Dプリンタは、アームが最長8.5m、高さ1.5m、幅1.6m、重量2tというスペック。クレーン付きトラックに乗せ移動できます。今回は3Dプリンタ自体を直接建設現場へと運び込み、「その場で住宅そのものを1棟丸ごとプリントする」というのが重要なポイントとなっていました。

建設費総額は1万134ドル。既存の建設工法との比較では、1平米当たり223ドルのコストカットになるとうたっています。

3Dプリンタを使って住宅を建設するメリ



ットとして同社はコスト削減、工期短縮、住宅設計の自由度などを挙げています。これだけ早く、しかも安く住宅が完成するのであれば、ホームレス対策や、オリンピック開催時の選手村、災害発生時の仮設住宅、格安別荘など様々な場面で活用が期待できそうです。



つくり過ぎることができません。  
なお、今年が開館二十周年記念としてこれまでにない趣向をこらしたさまざまな企画展が開催される予定です。



安曇野ちひろ美術館は、ちひろ美術館・東京の開館二十周年を記念して、1997年長野県北安曇郡松川村に開館しました。  
松川村は、信州出身のちひろの両親が第二次世界大戦後に開拓農民として暮らした村です。ちひろにとって、幼い頃から親しんだ、心のふるさとでした。安曇野の自然にこけこむような建物は、内藤廣氏の設計によるもの。周囲には北アルプスを望む安曇野ちひろ公園が広がり、清流が脇を流れ、子どもから大人まで、日常を忘れ、一日ゆっくり過ごすことができます。

## 安曇野ちひろ美術館

## 建築探訪

## 城取設計 ニュース

### 事務所移転から2年経過



おかげ様で事務所も移転して丸2年が経過し、1階カフェタイズと共に地域の方々にも徐々にではありますが知られる存在に成長できた気がします。

夢を語るKさんのお手伝いができるところに感謝しかありません。その他にも店舗計画の相談、住宅の計画、庭木の相談など多岐にわたる相談を受けるようになってきました！！

先日嬉しいお客様がお見えになりました。商社マンとして都内・海外でバリバリ働ってきたKさんは定年を迎え第二の人生を伊那谷でと考え移住してきました。Kさんは自宅を改修し地域の人たちが気軽に来れるカフェを計画している全国各地のカフェを見てまわったようです。そんなKさんは先日、伊那消防署に行った帰り道「カフェタイズ」を見つけふらっと立ち寄り、お店・事務所を見て、いたく感動し話しかけてきてくれました。



事務所北側に花壇を計画中です

おすすめ

## この一冊

### 「熱狂宣言」

小松 成美 (幻冬舎)



日本の外食業界に常に新風を巻き起こし続ける「外食業界のフアンタジスタ」と賞される男

行動指針を「熱狂宣言」に掲げる外食産業「ダイヤモンドダイニング」創業者・松村厚久社長。小松成美さん渾身の書き下ろしノンフィクションを紹介します。

「外食業界のフアンタジスタ」と賞される松村さんは、高知から上京し、サイゼリヤでのバイト、ディスコの黒服、日焼けサロン経営を経て外食業界に参入し、奇跡の100店舗100業態を達成。

2015年7月には、東証一部上場を成し遂げます。しかし、彼は熱狂的に働きながら、「若年性パーキンソン病」という過酷な病と闘ってきました。病気を通じて、人生は有限であることを改めて認

識し、立ち止まらず走り続けるために熱狂する。その熱狂が周りの人を巻き込み、新しい風を生む。身体は不自由ですがまだまだ走り続けるといふ松村さんの生き様に感銘し、苛烈な人生を、全身全霊で生きる一人の男の生き様に感銘し熱狂したくなる一冊です。



小松成美著  
定価・本体1,500円+税  
発売日・2015年8月7日  
形態・四六判(337ページ)

特集

# 施工事例

創業53年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え  
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

## 施工事例

土間が作り出す  
開放的で  
自由な暮らし  
を目指して

### 建築概要

名称: B邸  
所在地: 長野県伊那市  
構造・階数: 木造・2階  
延床面積: 122.14㎡

夫婦と、将来増えることが想定されるご家族のための住宅です。

敷地はこれといった特徴のない一般的な分譲地です。そんな中で、できるだけ自由で開放的な暮らしができる住宅を目指し計画しました。

その手がかりとして、南と北に2つの庭を用意し、南の庭にダイニングを、北の庭にワークスペースを配置し、くびれ

た形の土間でつなげました。そこにくつかのレベル（リビング、階段の踊り場）を持ちこむことで行き止まりのない自由な生活が送れるのではないかと考えました。もう一つの手がかりは、雑多なものを許容する空間を作ることです。その方法として、階段を2つに分割し、家具の様な（動かせそうな）軽さをもたせたり、柱、筋交い、建具、造作家具を壁と

は違った要素として扱ったり、ワークスペースの棚板を一般的な金物を用いて可動としたりしました。そうやって動的な要素を増やすことで室内にいろいろな物が持ち込まれても、空間の邪魔にならず逆に調和を作り出すような開放性が得られるのではないかと考えました。屋根は軒を出さず樋も付けていませんが、一般的な切妻屋根とし、外壁を屋根と同じガルバリウム鋼板の段置きにしたことで、日本に昔からある下見貼りにも見えてきます。

完成してみると、北海道の草原に建っているという人もいれば、モダン、北欧風などと言う人もいます。

見る人にさまざまな捉え方ができる物をつくりたいという想いを少し実現できたと思います。





# 地元のチカラ

# この街の企業

長野県伊那市では、伊那市出身で、NHK大河ドラマ「龍馬伝」やNHK大河ファンタジー「精霊の守り人」映画「シン・ゴジラ」の人物デザインを手がけた柘植伊佐夫（つげいさお）氏が総合プロデューサー・監督を務める、プロモーション映像「イーナ・ムービーズ」を放映しています。

今年度は、「山（森林）」が富と雇用を支える50年後の伊那市」を基本理念とする、「イーナ・ムービーズ」「ソーシャルフォレストリ―都市伊那編」（仮）を制作し、「ソーシャルフォレストリ―都市」

「自然エネルギーのまち」をPRしていく予定です。イーナ・ムービーズとは、四季折々の魅力を詰め込んだ映像集です。四季折々の豊かな自然や食・

文化・芸術、地域住民の豊かな表情など、魅力が「ぎゅつ」と詰まっています。

映像を見た人がどこか「なつかしい」と感じる質感を、古くから守られてきた情景や歴史が色濃く残る建造物、地域に受け継がれる伝統文化などで表現し、「未来への希望感」を新しく生まれた情景と逞しく育つ子どもたちや地域住民の活力あふれる豊かな表情を通じて表現しています。

これまでの無料動画投稿サイトでの再生回数は、平成27年度に配信した「四季編」が24万回以上、さらに翌年度「信州そば発祥の地 伊那5週連続ぶつとおしそば三昧」イベント開催に向けて配信した「そばの旅人」は48万回

## 伊那の魅力を映像で！「ソーシャルフォレストリ―都市」をPRする映像を制作

イーナ・ムービーズ  
(伊那市)



以上を記録しています。また、地元新聞各社やテレビ局をはじめ、移住・旅行・観光関連サイト、ウェブニュースなど「伊那市」がこれまでにない全国的なマスメディアに露出する契機となっています。

柘植伊佐夫氏ならではの手法、制作スタッフだからこそその魅力あふれる撮影などが、今年5月頃〜9月にかけて伊那市内で行われる予定です。ぜひ、ご注目ください！

プロデューサーの横顔  
人物デザイナー 柘植伊佐夫



イーナ・ムービーズ  
長野県伊那市下新田3050番地  
TEL:0265-78-4111  
URL: <http://i-namovies.jp/>

### 扮装を形にする「人物デザイン」

長野県伊那市出身で、NHK大河ドラマ「龍馬伝」や映画「シン・ゴジラ」などの人物デザイナーを務めた柘植さん。プロデューサーと監督を務めるイーナ・ムービーズでは、『なつかしい未来』をテーマに据えて、新旧が交差する伊那市の情景、逞しく育つ子どもたちや人々の豊かな表情を表現しています。

## café ties 新メニューの紹介

過ごしやすい季節になりました。Cafetiesでは開放的なテラス席がおすすめです。人気のワッフルと一緒に冷たいドリンクはいかがですか。メイソンジャーに新しいフレーバーが仲間入りしました。爽やかな味わいのピンクグレープフルーツ、グリーンアップル、ほんのり甘いピーチです。炭酸がきいていてスッキリした後味です。テラス席はペットOK!!わんちゃんとも是非一緒にご来店ください。



カフェ タイズ  
伊那市西町5863-1  
[www.cafeties.com](http://www.cafeties.com)  
営業時間  
月～木 11:00～18:00  
金～日 11:00～22:00  
土 10:00～22:00  
日 10:00～20:00  
※冬季の夜営業は宴会ご予約のみ。

## 営業コラム



8年目に突入しました若手経営者勉強会「伊駒考動倶楽部」では4月25日に伊那市出身の若手経営者「竹松祐紀氏」から『ゼロから宇宙旅行のチケットを手に入れた！お金が増えるお金の使い方』の内容で講演を行いました。

普通のサラリーマンから独立して現在30代で宇宙旅行のチケットまで手に入れた竹松氏がお金を活用して夢を叶える秘訣についてお話ししてもらい、当日は地元伊那市だけでなく諏訪方面から約40名の方々に参加いただき開催することが出来ました。

自分のミッションを「カッコイイ大人を増やしたい」と掲げる竹松氏の高校生時代に会った西田文郎氏のメンタルトレーニングの話から、はじめて就職

した会社でのテレマーケティングの話、DENAに転職し、その後26歳で独立した話を前半1時間あまり聞かせていただき後半は著書『テキない人のお金の使い方 デキる人のお金の使い方』の解説を聞かせていただきました。



時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。  
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、  
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

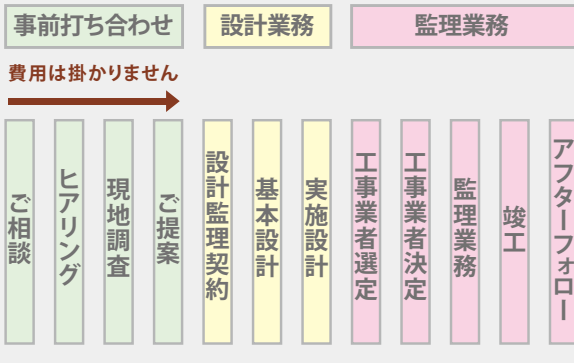
城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



## 城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取組みます



# 株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：(上伊) J 第2Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店  
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：(社) 長野県建築士事務所協会  
(社) 長野県建築士会

- 事業内容
  - ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
  - ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
  - ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
  - ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
  - ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
  - ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

- 本社  
長野県伊那市西町 5863-1  
TEL：0265-72-7271  
FAX：0265-72-7270

